

耐(重)塩害仕様室外機 (受注生産品)

塩害による腐食から本体をしっかりガード。
安定した品質・性能を長期間持続します。

●受注生産品のため、納期についてはお問い合わせください。

四方を海に囲まれた日本では、機械のサビ対策は大切なポイントです。特に工場は立地条件の上で、海浜地区にあることが多く、空冷式室外機のサビ対策が要望されます。ダイキンでは、ケーシングからボルト、ビスにいたるまで、キメ細かな防食処理を施した《耐塩害仕様》室外機を豊富に取り揃え、腐食性雰囲気のある工場で優れた耐久性を発揮しています。

フッ素コートで耐候性がアップした
「耐重塩害仕様室外機」を
ラインアップ

「耐塩害仕様」「耐重塩害仕様」は、
日本冷凍空調工業会標準規格JRA9002に基づいています。



JRA耐塩害仕様(E仕様)・重塩害仕様(H仕様)の塗装色はアイボリー(標準機)からライトキャメル(2.5Y6.5/1.5)に変わります。

JRA耐塩害仕様(室外機)

■据付場所 ●耐塩害仕様機は、室外設置機を塩害の影響を受ける場所に設置可能な仕様になっています。

種類	記号	据付場所	機種選定の目安 ※1、※2
JRA耐塩害仕様	E	<p>●潮風には当たらないがその雰囲気あるような場所</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 室外機の設置場所から海までの距離が約300mを超え1km以内の場所 2. 室外機が建物の影になる場所 3. 室外機が雨で洗われる場所
JRA耐重塩害仕様	H	<p>●潮風の影響を受ける場所。但し、塩分を含んだ水が直接機器にはかからない場所。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 室外機の設置場所から海までの距離が約300m以内の場所 2. 室外機が建物の表(海岸面)になる場所 3. 室外機設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所 4. 室外機に雨があまりかからない場所

※1：耐塩害仕様、耐重塩害仕様の選択は、設置環境により条件が変わる場合(例えば季節風、台風の影響の強い地域)を除いたときの目安です。
※2：沖縄や離島地域に設置される場合は、JRA耐塩害仕様(H)を使用してください。

■新冷媒エアコン耐(重)塩害仕様室外機・機種シリーズ

容量	適用エアコン			
	冷暖房兼用エアコン		冷房専用エアコン	
	耐塩害仕様	耐重塩害仕様	耐塩害仕様	耐重塩害仕様
5馬力	RZYCP140DE	RZYCP140DH	RZCP140DE	RZCP140DH
	RYCP140DE	RYCP140DH	—	—
8馬力	—	—	RCMP150ME	RCMP150MH
	RZYCP224DE	RZYCP224DH	RZCP224DE	RZCP224DH
	RYCP224DE	RYCP224DH	RZCP224MKE	RZCP224MKH
	CRYP224AE	CRYP224AH	—	—
10馬力	—	—	RCMP236ME	RCMP236MH
	—	—	CRP224AKE	CRP224AKH
	RZYCP280DE	RZYCP280DH	RZCP280DE	RZCP280DH
	RYCP280DE	RYCP280DH	RZCP280MKE	RZCP280MKH
16馬力	—	—	RCMP300ME	RCMP300MH
	—	—	CRP300AKE	CRP300AKH
20馬力	RZYCP450DE	RZYCP450DH	RZCP450DE	RZCP450DH
	RYCP450DE	RYCP450DH	—	—
	RZYCP560D1E	RZYCP560D1H	RZCP560D1E	RZCP560D1H
	RZYCP560D2E	RZYCP560D2H	RZCP560D2E	RZCP560D2H
20馬力	RYCP560D1E	RYCP560D1H	—	—
	RYCP560D2E	RYCP560D2H	—	—

据付上の注意(維持管理について)

JRA耐塩害仕様機・耐重塩害仕様機は素材や塗装内容を強化していますが、腐食に対して万全ではありません。

このため次のような据付計画と保守を行うことにより防食効果を高めて行く必要があります。

- (1) 海水飛流および潮風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置して下さい。
 - ・機械の設置は建物の風下にして下さい。
 - ・やむを得ず海岸面に機械を設置する場合でも防風板を設けて直接潮風が当たることを避けてください。
 - ・据付方向に注意してください。(海岸線に平行と直角では腐食度合いが異なります)
- (2) 外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって十分洗浄されるように配慮してください。
- (3) 室外機底板内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないよう傾き等に注意してください。
- (4) 海岸地域への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
- (5) 水はけの良い場所に設置してください。特に基礎部分の排水性を確保してください。
- (6) 据付け、メンテナンス等にて付いた傷は、必ず補修してください。
- (7) 機器の状態を定期的に点検してください。
(必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施してください。)